



イイケン先生の『恐縮ですが…一言コラム』

第 536 回 腹一杯の「希望」があれば

2013.8.4

今回は思想家・橘 榮一郎氏のポエムをそのまま、掲載させて頂きました。

腹一杯の「希望」があれば

「希望」さえ持てば、きっと、最悪の事にはならないよ。
なぜなら、最悪の事と決めたのは、あなた自身だから。

「不幸」だと思う今日のあなたは、世界一悲しい人かもしれません。
なぜなら、「希望」を忘れかけてしまったから。
際限なく悲しい出来事も、朽ち果てるほどの辛いことも、
「不幸」と決めたのはあなた自身、
だからきっと、
「希望」さえあれば耐えられるものです。
「不幸」を治す薬は、ただもう、「希望」よりほかにはありません。
「希望」は強い勇気であり、あらたな意志です。

たった一度しかない一生を、本気で生かさなかつたら、
人間に生まれてきた甲斐がないでしょう。
だから、
精一杯生きることです。
「嫉妬」や「妬み」や「愚痴」は捨てて、
精一杯生きることです。
そうすればきっと、「愛」と「感謝」に満ち溢れた一生になるでしょう。

頭いっぱい胸いっぱい、お腹一杯の「希望」があれば、
自分は「不幸」と思う、必然がなくなってしまうのです。
そんな精一杯の生き方が、「不幸」という文字を消していく…
腹一杯の「希望」があれば、明るい光は、向こうからやってくる。

橘 榮一郎作『腹一杯の「希望」があれば』より